

2023年度 認定 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業方針

1、基本方針

2023 キーワード <新しい支援の活用> <組織基盤強化>

退所後の支援制度が拡充しています。来る 2024 年度からは、「拠点事業制度」が新設されることになり、ますます重要な役割を求められています。社会的インパ

クトマネジメントや人事評価制度の導入により、組織基盤は強化されつつありますので、今後は子どもへの支援を質量ともに充実させてまいります。

2、トピックス

■世田谷区行政事業受託

世田谷区の「せたがやフェアスタート事業」のうち、令和 5 年度から新しく始まる「相談支援事業」受託しました。関東圏では横浜に続き 2 カ所目となる、社会的養護経験者が気軽に立ち寄れる居場所（愛称：せたエール）を開設し、退所後の孤立を防ぎます。また世田谷区児童相談所管轄の児童に対し、自立支援セミナーや仕事体験の機会を提供し、関係を構築します。これにより、退所後に必要な支援をより届けられることを目指します。

行政受託が、団体の財政基盤の安定をもたらすとともに、より多くの施設や里親、または企業やボランティアと連携して支援を展開していく上で、社会的な信頼を獲得することにつながります。今後、他区の児童相談所に対しても積極的な行政受託の獲得を目指します。

■医療連携支援

「社会的養護自立支援事業」が拡充され、熊本県・熊本市、横浜市にて「医療連携支援」がスタートしました。生い立ちの整理が不十分なまま自立したケース、退所後メンタル不調に陥るケース等、アフターケアでの医療的な支援が必要になっています。公認心理師や臨床心理士による若者へのメンタルケア、必要な医療につなげる医療機関連携、スタッフヘスーパードバイズ等の取り組みを行っています。年々高まる個別支援ニーズに対し、専門家の力も借りながら丁寧に対応していきます。

■B4S プログラムエントリーシステム導入

仕事体験プログラムの実施において、煩雑なプロセスを手作業で行うため、事務作業が大きな負担になっています。

プログラム申込管理のためのシステム開発費用として、大和証券「子どもサステナブル基金」から 350 万円の助成金をいただき、株式会社 SUN ASTARISK に社会貢献の一環として格安でシステム開発を受けていただけることとなりました。

事務作業について、メール配信の自動化や申込管理が一元管理できる等大幅な効率化が期待できるほか、施設職員や里親にとっても、申込手続きや参加確認がわかりやすく簡単になる予定です。

■退所後トラッキング調査と、退所者本人調査

施設職員へのアンケートである「全国児童養護施設退所者トラッキング調査」は、様々な角度から分析が可能な調査設計ですが、4 年目となる今年は、退所者一人ひとりの進路や自立支援の状況をトラッキングしていることを生かした分析にトライするとともに、調査結果報告会にはより多くの人が参加していただける形を模索したいと考えています。

また昨年佐賀県から受託した退所者本人へのアンケートも、退所者のリアルな状況を把握できるものでした。今年は更に調査の行政受託の拡大を図ります。